

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

1 事業の状況

(1) 煎茶道に関する調査研究 (643千円)

ア 本部研究事業

(ア) 有声文庫研究会において研究調査を行う。

家元及び有識者を招いて有声文庫研究会において、煎茶道関連図書の研究として『清風瑣言』及び『泡茶新書三種』の読解及び現代語訳などを実施。

(イ) 「第9回煎茶文化フォーラム」 (643千円)

煎茶道に関する講演を2講及び有声文庫研究会における研究結果についてパネルディスカッションを実施。

日 時 平成29年10月28日(土)

会 場 黄檗山萬福寺 煎茶道会館

人 数 約50名

(2) 煎茶道習得に必要な研修会・講演会等 (4,775千円)

ア 本部研修会に関する講演会

(ア) 「第52回夏季大学 広島」

教授者養成のための研修会を実施。

日 時 平成29年8月27日(日)

会 場 Y M C A 国際文化ホール

人 数 約300名

(3) 茶会・展示会の開催 (25,100千円)

ア 本部主催の茶会及び展示会

(ア) 「第62回全国煎茶道大会」 (17,457千円)

煎茶道の全国大会として2日間合計22流派のお茶席を開筵し実施。

日 時 平成29年5月20日(土)・21日(日)

会 場 宇治 黄檗山 萬福寺

人 数 約2,500名

(イ) 「第28回東京大煎茶会」 (7,018千円)

連盟主催の秋の茶会として3日に渡り実施。13流派の茶席を開筵。

日 時 平成29年11月24日(金)～26日(日)
会 場 東京美術倶楽部
人 数 約1,100名

イ 本部主催及び共催の展示会

(ア)「国民文化祭 なら2017」 (625千円)

「国民文化祭なら2017」において、煎茶道体験の実施。煎茶道の周知及び普及を行う。

日 時 平成29年9月1日(金)～30日(土)
会 場 奈良市内各所

(4) 煎茶道教授者の養成 (3,326千円)

ア 煎茶道教授者育成費の補助を行う。

各流派へ教授者育成費用として補助を実施。

(5) 煎茶道文化の海外への紹介について (436千円)

ア 第62回全国煎茶道大会における海外団体への参加誘致。

台湾茶芸団体2団体が全国煎茶道大会に参加。

イ 海外事業実施のための調査研究

実施先を調査。実施に向け検討中。

(6) 煎茶道に関する出版物の刊行 (10,289千円)

煎茶道に関する出版物の刊行については、29年度は以下のような会誌、図書を出版する。

ア 会誌の発行 (9,343千円)

会誌 「煎茶道」の発行

部 数 毎 月 2500部

イ 煎茶道手帳2018 (946千円)

1年1回の発行 約150ページ

部 数 3,400部

(7) 煎茶工芸作家の育成と作品展の開催 (1,756千円)

ア「第31回日本煎茶工芸展」

煎茶工芸の展示会としてホームページなどで全国から公募。煎茶道流派の家元、学識者、工芸作家による審査を行い、約95点の出品作品の中から79点が入選。最高賞文部科学大臣賞をは

じめとして8作品が入賞。入選作品は全国煎茶道大会と同日同会場にて実施される日本煎茶工芸展にて展示。

日 時 平成29年5月20日(土)・21日(日)

会 場 黄檗山 萬福寺 真空の間

人 数 約2,500名

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (1,369千円)

ア「売茶忌その他茶会事業」 (1,017千円)

売茶翁の顕彰活動として法要と茶会を実施。

イ「有声軒維持事業」 (220千円)

煎茶趣味茶席有声軒の維持管理。

ウ「売茶翁顕彰碑献茶式・茶会」 (132千円)

日 時 平成29年4月8日(土)

会 場 京都府立植物園前 半木の道

以 上